

HP iLO 4 リリースノート

1.40

HP 部品番号: 684917-199
2014 年 2 月
第 1 版



© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

商標

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Java は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

リビジョン履歴

製品番号	サポートされるバージョン	改版番号	改版日
684917-196	1.22	1	2013 年 4 月
684917-197	1.30	1	2013 年 9 月
684917-199	1.40	1	2014 年 2 月

説明

HP iLO サブシステムは、初期のサーバーセットアップ、サーバーヘルスの監視、電力と温度の最適化を行い、リモートサーバー管理を簡素化する、HP ProLiant サーバーの標準コンポーネントです。HP iLO サブシステムは、インテリジェントなマイクロプロセッサ、セキュリティ保護されたメモリ、および専用のネットワークインターフェイスを備えています。この設計により、HP iLO は、ホストサーバーとそのオペレーティングシステムから独立しています。

HP iLO 4 には、以下の重要な機能があります。

- HP Active Health System - サーバーハードウェアとシステム構成の変化を監視し、記録します。
- Agentless Management - ホストサーバーの状態に関係なく、HP iLO からの SNMP アラートによりエージェントレス管理を提供します。
- リモートサポート - オペレーティングシステムソフトウェアに関係なく、iLO から Gen8 サーバーを Insight Remote Support に登録できます。追加のホストソフトウェア、ドライバー、エージェントは不要です。

アップデートの推奨事項

推奨。システムがドキュメントに示されている問題修正の影響を受ける場合や、このバージョンが提供する拡張機能を利用する場合は、このファームウェアバージョンをアップデートしてください。

置き換わるバージョン

HP iLO 4 1.32

製品モデル

HP iLO 4

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows Server 2008、R2
- Microsoft Windows 2012、R2
- Red Hat Enterprise Linux 5 (x86、AMD64/EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 6 (x86、AMD64/EM64T)
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86、AMD64/EM64T)
- VMware ESX/ESXi Server 4.0、4.1
- VMware ESXi Server 5.0
- VMware vSphere 5.1、5.5

ブラウザ要件

iLO の Web インターフェイスを実行するために、以下のブラウザがサポートされています。

- Internet Explorer 8、10
- Firefox ESR 24
- Chrome (最新バージョン)

iLO 4 の Web インターフェイスを使用する場合は、以下の設定を有効にする必要があります。

- **[JavaScript]** - このアプリケーションは、クライアント側の JavaScript を広範囲で使用します。
- **[Cookies]** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。

- **[ポップアップウィンドウ]** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。

サポートされるデバイス

- HP ProLiant BL660c Gen8 サーバー
- HP ProLiant BL465c Gen8 サーバー
- HP ProLiant BL460c Gen8 サーバー
- HP ProLiant BL420c Gen8 サーバー
- HP ProLiant DL3000 サーバー
- HP ProLiant DL580 Gen8 サーバー
- HP ProLiant DL560 Gen8 サーバー
- HP ProLiant DL385p Gen8 サーバー
- HP ProLiant DL380p Gen8 サーバー
- HP ProLiant DL380e Gen8 サーバー
- HP ProLiant DL360p Gen8 サーバー
- HP ProLiant DL360p Gen8 SE サーバー
- HP ProLiant DL360e Gen8 サーバー
- HP ProLiant DL320e Gen8 v2 サーバー
- HP ProLiant DL320e Gen8 サーバー
- HP ProLiant DL160 Gen8 サーバー
- HP ProLiant ML350e Gen8 サーバー
- HP ProLiant ML350p Gen8 サーバー
- HP ProLiant ML310e Gen8 v2 サーバー
- HP ProLiant ML310e Gen8 サーバー
- HP ProLiant SL4540 Gen8 サーバー
- HP ProLiant SL210t Gen8 サーバー
- HP ProLiant SL270s Gen8 サーバー
- HP ProLiant SL270s Gen8 SE サーバー
- HP ProLiant SL250s Gen8 サーバー
- HP ProLiant SL240n Gen8 サーバー
- HP ProLiant SL240d Gen8 サーバー
- HP ProLiant SL230s Gen8 サーバー
- HP ProLiant MicroServer Gen8
- HP ProLiant WS460c Gen8 グラフィックスサーバーブレード

拡張機能

このバージョンでは、次の機能と拡張機能のサポートが追加されます。

- iLO 連携管理

注記: iLO 連携管理は iLO 専用ネットワークポートの IPv4 および IPv6 ネットワークでサポートされます。iLO 共有ネットワークポートではサポートされません。iLO 連携管理を使用中にデータ不整合エラーが発生する場合は、トラブルシューティングのためにマルチシステムマップページを参照してください。iLO 連携管理を使用する前に、HP ProLiant ブレードサーバーに Onboard Administrator v4.11 がインストールされている必要があります。

- Insight Remote Support の Direct Connect 設定
- HP Enterprise Secure Key Manager ESKM 3.1 以降は、HP セキュア暗号化と連携して使用されます。
- 改善された Java 統合リモートコンソール (IRC)
- HP ProLiant DL580 Gen8 サーバーの UEFI システムユーティリティ
- 次のコマンドが追加されました。
 - 連携コマンド：
 - ADD_FEDERATION_GROUP
 - DELETE_FEDERATION_GROUP
 - GET_FEDERATION_ALL_GROUPS
 - GET_FEDERATION_ALL_GROUPS_INFO
 - GET_FEDERATION_GROUP
 - GET_FEDERATION_MULTICAST
 - MOD_FEDERATION_GROUP
 - SET_FEDERATION_MULTICAST
 - Insight Remote Support の Direct Connect コマンド：
 - DC_REGISTRATION_COMPLETE
 - SET_ERS_DIRECT_CONNECT
 - SET_ERS_WEB_PROXY
 - 起動設定コマンド：
 - GET_CURRENT_BOOT_MODE
 - GET_PENDING_BOOT_MODE
 - GET_SUPPORTED_BOOT_MODE
 - SET_PENDING_BOOT_MODE
 - 暗号化コマンド：
 - GET_ENCRYPT_SETTINGS
 - GET_TPM_STATUS
 - MOD_ENCRYPT_SETTINGS
- 次のコマンドが更新されました。
 - SET_ONE_TIME_BOOT
 - SET_PERSISTENT_BOOT

問題の修正

このファームウェアバージョンでは、次の問題が解決されました。

- iLO が IPMI からリセットされたときに、サーバーの自動電源オンがトリガーされることがある。
- USB 仮想メディアを使用するファームウェアアップデートが、セキュアなフラッシュイメージの破損が原因で失敗することがある。
- SSH ソケットがクローズするまで 30 秒かかることがある。
- GET_OA_INFO コマンドの出力に OA の IPv6 アドレスが含まれない。
- iLO 4 SNMP スタックが SNMP リクエストに応答しなくなることがある。
- ファイルのアップロードセクションが iLO Web インターフェイスの [ファームウェア] ページに表示されない。
- iLO がビジーの場合に統合リモートコンソール (IRC) が動作を停止する。
- 信頼済み証明書がインストールされていない場合、.NET 統合リモートコンソール (IRC) が Chrome での開始に失敗する。
- Kerberos Keytab ファイルを iLO Web インターフェイスから追加できない。
- プロキシ設定を使用してリモートサポートを登録し、その後プロキシ設定を削除するとエラーが発生する。
- ディレクトリ設定情報が iLO Web インターフェイスとスクリプティングインターフェイスで一致しない。
- iLO のリセット中にユーザーがシステム RBSU を終了すると、サーバーがシャットダウンする。
- FIPS モードが有効のとき、Kerberos Keytab ファイルを追加できない。
- 起動中にハードディスクドライブに障害が発生しても、サービスイベントが生成されない。
- リモートコンソールが開始されているときに [取得] ダイアログボックスが表示される (ただし、取得するアクティブなセッションは存在しない)。
- スペアドライブが使用中のときに、スペアドライブのステータスが「非アクティブ」に変更される。
- セキュリティオーバーライドスイッチが有効のとき、長いログイン名が失敗することがある。
- XML スクリプトを使用して TPM ステータスを表示できない。
- IPv6 デフォルトゲートウェイが静的デフォルトゲートウェイとして保存されることがある。
- FIPS モード/AES-DES を構成する場合、キー交換メソッド 'diffie-hellman group1 sha1' はサポートされてはならない。
- プライマリタイムサーバーが入力されていない場合、iLO クロックが NTP との同期に失敗する。
- NVRAM がクリアされた後、iLO Web サーバーが予期せず停止する。
- OA が IPv6 専用ネットワーク上で設定されている場合、iLO DHCPv6/EBIPA アドレスが OA に表示されない。
- iLO Web インターフェイスの [診断] ページにバックアップ ROM 日付が正しく表示されない。
- IPMI Get Sensor Reading コマンドが吸気口周辺センサーの不正なデータを返す。
- 遅延が 15、30、45、60 秒に設定されている場合、自動電源オンに 2 分かかる。
- いくつかの電源投入時セルフテスト (POST) エラーがインテグレートドマネジメントログ (IML) で切り捨てられることがある。

- RIBCL GET_POST_STATE コマンドの出力が HOST_POWER コマンドの出力を表示する。
- 共有リモートコンソール機能にライセンスが与えられていない場合、ユーザーが [共有] ボタンをクリックしたときにエラーメッセージが表示されなければならない。
- NTP または OA 時間設定をホストに反映させるように iLO を構成することができない。
- AES/3DES が CLI を使用して有効化または無効化されると、SSH セッションがログアウトされない。
- iLO CLI および Web インターフェイスの長さの要件が FQDN の長さの要件と異なる。
- 電源モードが OS 制御に設定されている場合、CLI に警告メッセージが表示されない。
- ログインセキュリティバナーの動作が iLO Web インターフェイスと iLO スクリプト間で同じではない。
- リモートコンソールに同じドライブ文字を持つ複数の CD-ROM ドライブが表示される。
- 複数の逆並列接続の後、SSH インターフェイスがフリーズすることがある。
- 証明書がインストールされていない iLO システムで、証明書が最大数に達したことがレポートされる。
- 複数のセンサーが同じ座標を持つとき、iLO Web インターフェイスの温度グラフに 1 つのセンサーの詳細しか表示されない。
- ファームウェアをアップデートした後、SNTP 設定が iLO Web インターフェイスに表示されない。
- CLI を使用して iLO ファームウェアをアップデートするとエラーが発生する。
- CPU の温度が正しくレポートされない。
- スクリプトまたは CLI を使用してデフォルト言語を変更しても、イベントが生成されない。
- 不正なファームウェア URL が入力されても、エラーメッセージが表示されない。
- メンテナンスメモが入力されると、インテグレートドマネジメントログ (IML) にエラーが表示される。
- 電源オンにエラーが発生しても、イベントが生成されない。
- VLAN タグを、iLO RBSU を使用して設定できない。
- iLO ファームウェアの日付が iLO RBSU に正しく表示されない。
- 設定済みディレクトリを持たない iLO システムのローカルユーザーアカウント設定が「無効」に変更されたとき、警告メッセージが発生しない。
- 電源オン遅延オプションが iLO Web インターフェイスと CLI 間で一致しない。
- Intelligent Provisioning のバージョンが iLO システム情報の [ファームウェア] ページに表示されない。
- 証明書の名前に何も入力されていない場合、Enterprise Secure Key Manager (ESKM) の証明書が削除される。
- 一致しないパワーサプライ (OK ステータス) が CLI に表示される。
- 言語パックのアップデートが失敗してもイベントが生成されない。
- パワーレギュレーター設定が変更されてもイベントが生成されない。
- ポート番号 65535 の windbg を iLO CLI から有効にすることができない。
- 重複 IP アドレスが検知されない。
- iLO 4 1.20 以降で、ping リクエストに応答する前に ARP を送信しない。これにより、クライアントからの NIC チューニングを使用した ping が iLO 4 に届かなくなります。
- Solaris 10 および 11 が仮想メディアを使用してインストールできない。

- c-Class ブレードサーバーがエンクロージャに挿入されている、または E ヒューズ化されている場合、SNTP タイムゾーンオフセットが OA が提供する時間に正しく適用されない。
- サーバーのシリアル番号が BIOS でアップデートされても、システムボード FRU データがアップデートされない。

前提条件

- Direct Connect リモートサポートのみ：HP パスポートの認証情報を入力する際は、**[HP パスポートユーザー名]**ボックスに HP パスポートのユーザー ID を入力してください。ほとんどの場合、HP パスポートのユーザー ID は、HP パスポートの登録プロセス中に使用したメールアドレスです。ユーザー ID を HPSC で変更した場合、メールアドレスではなくご自分のユーザー ID を入力してください。
- 次のユーティリティを使用する場合は、下記に提示されているバージョンに更新してください。IPv6 のサポートには最小バージョンが必要です。

ユーティリティ	最小バージョン	iLO 4 1.40 のバージョン	注記
HPQLOCFG	1.0	1.1	CPQLOCFG ユーティリティがこれによって置き換えられました。
HPONCFG	4.2.0	4.3.0	Channel Interface ドライバー（CHIF）バージョンは 3.9.0.0 が必須。
LOCFG.PL	4.20	4.30	HP Lights-Out XML スクリプティングサンプルのバンドルで入手可能。
HPLOMIG	4.20	4.30	最小バージョンの HPLOMIG にアップデートしてから iLO 4 1.40 アップデートをインストールしてください。

- 一部の iLO 4 機能は、iLO ライセンスパッケージの一部です。iLO ライセンスについて詳しくは、Web サイト <http://www.hp.com/go/ilo/licensing>（英語）を参照してください。
- Java 統合リモートコンソールを使用するには、Java Runtime Environment, Standard Edition 1.4.2_13 以降をインストールする必要があります。
- .NET IRC は、Microsoft .NET Framework の次のバージョンのいずれかを必要とします。.NET Framework は、Windows Update を使用してインストールできます。
 - .NET Framework 3.5 Full（SP1 を推奨）
 - .NET Framework 4.0 Full
 - .NET Framework 4.5

注記： .NET Framework バージョン 3.5 および 4.0 には、Full と Client Profile という 2 つのデプロイメントオプションがあります。Client Profile は、Full フレームワークの一部にあたります。.NET IRC は、Full フレームワークを使用する場合にのみサポートされます。Client Profile はサポートされません。.NET Framework のバージョン 4.5 には、Client Profile オプションはありません。

- .NET 統合リモートコンソールは、.NET Framework の一部である Microsoft ClickOnce を使用して起動します。
 - Mozilla Firefox では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Microsoft .NET Framework Assistant のような ClickOnce プラグインがあると、Mozilla Firefox のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。.NET Framework Assistant は、Web サイト <https://addons.mozilla.org/en-US/firefox/addon/microsoft-net-framework-assist/> からダウンロードできます。

- Google Chrome では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Chrome ブラウザー用の ClickOnce プラグインがあると、Chrome のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。このプラグインは、Web サイト <http://code.google.com/p/clickonceforchrome/> からダウンロードできます。

インストール手順

インストール手順については、次のマニュアルを参照してください。

『HP iLO 4 ユーザーガイド』

製品番号：684918-196

版数：1

サポート

- HP iLO 4 ファームウェアアップデートとユーティリティは、ここから入手できます。
<http://www.hp.com/support/iLO4>
- HP iLO 4 1.40 は次の IPv6 専用ネットワーク通信をサポートします。
 - IPv6 静的アドレス割り当て
 - IPv6 SLAAC アドレス割り当て
 - IPv6 静的ルート割り当て
 - 統合リモートコンソール
 - OA シングルサインオン
 - Web サーバー
 - SSH サーバー
 - SNTP クライアント
 - DDNS クライアント
 - DHCPv6 アドレスの割り当て
 - DHCPv6 DNS および NTP の構成
 - RIBCL over IPv6
 - SNMP
 - HP-SIM シングルサインオン
 - WinDBG サポート
 - HPQLOCFG/HPLOMIG over IPv6 接続
 - スクリプト化可能な仮想メディア
 - CLI/RIBCL Key Import over IPv6
 - iLO 連携
- HP iLO 4 1.40 は次の IPv6 ネットワーク機能をサポートしません。
 - 共有ネットワークポート接続

- LDAP および Kerberos over IPv6 を使用した認証
- IPMI
- NETBIOS-WINS
- ストレージに対する ESKM サポート
- ERS サポート
- HP iLO 4 1.40 は IPv6 マルチキャストグローバルスコープ設定を受け付けません。